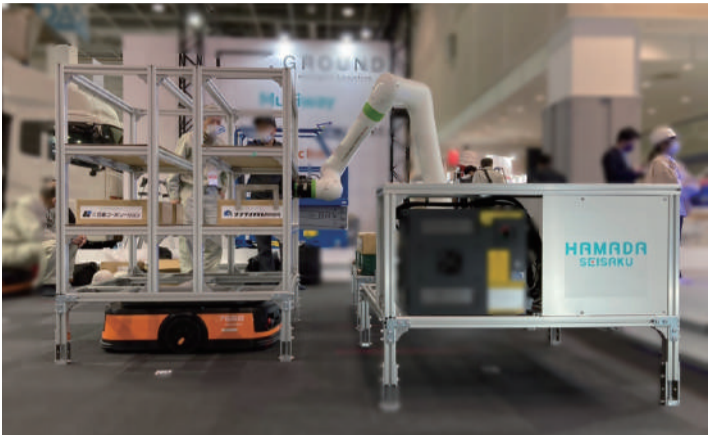


## 浜田製作

# 産業用ロボットとAGVを連携させた 自動化提案でスマート工場を実現

# オートメーションシステムにおける 日本のトップランナー企業



▲ 昨年発表したロボットシステム

## 関西物流展に 出展

浜田製作(大阪市鶴見区)は産業用ロボットを中心としたオートメーションシステムの企画設計から部品製作、組み立て、据え付け、導入まで一貫して手がけている。システムインテグレーター(Sier)として40年以上の歴史を持ち、特に金属加工やプラスチック成形など、ものづくり現場の加工対象物(ワーク)や部品の自動供給装置では多数の納入実績を持つ。近年は無人搬送車(AGV)と産業用ロボットを組み合わせ、製造工程だけではなく、工場内の運搬や倉庫管理も含めたトータルな自動化システムの提案を行い、業界でも注目を集めている。



▲ 前回の関西物流展出展時の様子

## ワンストップ で対応 事業加速 提携を契機に

2024年3月、同社の第二工場(同)ここでは4月に大阪で開催される「関西物流展」に出展する新しいロボットシステムの試運転が繰り返されている。アーム型ロボットが棚の前行き来しながら、専用ボックスに入った金属製品を次々と取り出し、ロボット本体に設けたスペースに積載して別の場所へ運ぶ。ロボットはパレット運搬用架台に固定されており、架台の下にAGVが潜り込んで、架台ごとロボットを移動させている。AGVは製品を置く棚やパレットの下にも入り、ロボットが作業し

2018年にはM&A(合併・買収)により、段ボール製造・販売の久門紙器工業(大阪府枚方市)を中核とする

1955年創業。80年代初め、大手ロボットメーカー・ファナックから製品供給を受け、いち早く産業用ロボットのシステム構築事業に乗り出した。金属加工やプラスチック成形などのものづくり企業向けに、ワークや部品の脱着・供給、製品の取り出し、自動組立などなどのシステムを数多く手がけ、累計のロボットシステム受注件数は1350件に上る。元々、産業機械や自動装置を設計・製作するメーカーとしてスタートしたこともあり、各種部品の加工や電気制御盤の製作、装置組み立てのほか、アーム型ロボットの先端に取り付けるハンドの製作も自社で行っている。

2018年にはM&A(合併・買収)により、段ボール製造・販売の久門紙器工業(大阪府枚方市)を中核とする

さらに久門紙器工業から派遣された久門社長の一手として、2022年に世界的AGVメーカーである中国HIKROBOT「実証システムでテストを繰り返す、問題点も徹底的に洗い出し、現場で活用できる」を結ぶこととなり、久門製作はHIK社からSierの中でもAGVの取り扱いが先行しており、競合他社との差別化も図れるはずと久門社長。産業用ロボットとAGVの同調という新たな提案を武器に、ここから事業展開を一気に加速させる。



▲ 今後「ラボックマーク2」  
として販売予定

# HAMADA SEISAKU

## 浜田製作株式会社

本社・本社工場 〒538-0042 大阪市鶴見区今津中3-10-8  
TEL:06-6961-8248(代) FAX:06-6968-9641

<https://www.hamadaseisaku.co.jp/>